

凍てつく2月の旭川を彩る氷の芸術

特集

氷彫刻世界大会などを開催し、氷彫刻の普及に取り組む
—— NPO法人 日本氷彫刻会

Book Stories 本づくりのさきにあること——。……………『北海道ヤウンモシリ 歴史と今を学ぶ』
【編集者】中西 志香さん

ほっかいどうの本 ……『北海道でいちばん大切にしたい会社』……………北海道新聞社
『プロが教えるクラゲ飼育図鑑』……………北海道大学出版会
『夢遠の道のり シベリア抑留の記 —我が人生曲折の譜—』……………共同文化社

凍てつく2月の 旭川を彩る氷の芸術 氷彫刻世界大会などを開催し、 氷彫刻の普及に取り組む ——NPO法人 日本氷彫刻会



JR旭川駅前に展示された「氷彫刻のレジェンド」中村順一さんによる歴代の大氷像。

①「雪の妖精」(2024年作) ②「道鳥一丹頂の息吹」(2023年作)
③「北の大地」(2022年作) (いずれも日本氷彫刻会提供)

2月の平均気温がマイナス6度の旭川市で、

2025年2月6日から11日まで「第66回旭川冬まつり2025」が開かれます。

会場となる石狩川の河畔には大雪像をはじめ、雪の迷路などが出現するほか、郷土料理などが味わえる「冬マルシェ」もオープンします。

そして、市街地の平和通買物公園では「2025年氷彫刻世界大会」が同時開催されます。

国内で唯一の氷彫刻の国際大会などを運営し、儂くも美しい氷彫刻の魅力を発信する

特定非営利活動法人(NPO法人)日本氷彫刻会(総本部・旭川市)の高橋徹会長をはじめ、皆さんに会の歴史や活動について聞きました。

(文・写真/片山健一 取材日・2024年11月27日、12月10日)



②



③

今年で53回となる 氷彫刻の世界コンテスト

2025年で53回目を数える氷彫刻世界大会は、個人戦で22基、二人一組の団体戦で14基の計36基の氷彫刻が制作されます。高さ1メートル、幅53センチ、厚さ26センチで重さ1355キログラムの水柱を個人戦では8本、団体戦では16本活用して、38〜40時間かけて作品を彫り上げるコンテストです。

会場となる平和通買物公園は、JR旭川駅から延びる歩行者専用道路で、商店街に沿って約1キロにわたる作品が並びます。夜間はLED照明により色とりどりに照らされ昼間とは異なる美しさがあり、冬まつり最終日の2月11日まで展示されます。

大会には、南は九州・沖縄からも参加するほか、団体戦は、全国各地の有名ホテルに勤める料理人のチームなどが名乗りをあげます。海外からは過去にアメリカ、カナダ、フランスなどのチームが出場し、今年は個人戦にオーストラリアとタイ、団体戦には中国からそれぞれ参戦します。作品の審査は、日本氷彫刻会の役員や有識者が行い、大会期間中に作品の状態が保たれている「安定性」、独創的なアイデアや生命感などの「創造性」、表現力や造形などの「技量」、立体感や重量感などの「質感」



2日間にわたり氷を彫り続ける大会出場者
(日本氷彫刻会提供)

量感」、空間との調和やバランスなどの「芸術性」を基準に評価します。最優秀賞には内閣総理大臣賞などが授与され、次点の優秀賞には文部科学大臣賞が贈られます。このほか特選、入選作品の中から北海道知事賞、旭川市長賞なども選定されます。

透明な素材を生かした 作品づくり

大会で使用する氷は、飲食用に製造された透明感があり溶けにくい「純氷」です。マイナス12度にしたブライン溶液の水槽の中で、ケースに入った原水を48時間以上かけて凍らせて135キの氷柱ができ上がります。大会は、作品を載せる雪の台座作りから始まります。型枠に雪を入れて締め固めてから水をかけて凍らせます。事前に提出したデッサンを基に、パーツごとの形状に氷柱を切り、積み上げていきます。氷にフェ



2024年世界大会で最優秀賞に輝いた個人の部「宇宙からの侵略者」(上)、団体の部「みんな仲良し」(下)
(いずれも日本氷彫刻会提供)

ルトペンで下絵を書き、余分な部分をチェーンソーなどで粗く切り落として、ノミやドリルなどで削って仕上げます。台座からはみ出したり、高さ制限を超えると失格、氷柱を残すと減点になることもあります。

大会の出場経験も豊富な日本氷彫刻会の塩塚哲夫常務理事は「木やブロンズなどの彫刻の素材にはない、氷の透明感を生かすことを考えて作品を作っていました」と言います。昔はノミとノコで作っていた氷彫

刻ですが、現在は専用の道具を使って制作しています。カービングチェーンソーやドリル、ディスクグラインダーといった電動工具を使うことで、より精緻な作品が作られるようになりまし。道具の進歩により氷を透明に磨くだけでなく、逆に表面をざらつかせる技術、氷の裏面を

彫って透かして見せる「裏彫り」という技術も登場しました。氷の接着技術も向上し、彫り出すよりも細かな細工を施したパーツを後付けできるようになったそうです。

氷彫刻を始めて50年以上になる日本氷彫刻会の高橋会長は「氷彫刻は美しいだけではない、多面的な魅力を持つ芸術だと思います。作品は溶けて無くなりますが、その間も形を変えながら見る人を楽しませます。私もひとたび彫り始めると、のめり込んでしまう。今もこの魔力に取りつかれています」と熱く語ります。

この話を受けて、同会の吉岡将之事務局長も「真冬の旭川で開く大会で、二晩寝ずに作品を彫り続けた選手もいました。『取りつかれている』としか言いようがありません」と頷きます。

1960年から続く 氷彫刻の団体

日本氷彫刻会の前身は、1960年に彫刻家の小林秀江さんが設立した「全国氷彫刻研究会」で、小林さんが日本彫刻会の初代会長とされています。1970年には全国に支部を置く「全国氷彫刻会」へと組織変更し、同年、2代目会長に小林さんの妻・志保さんが就任して、翌1971年に「日本氷彫刻会」へと改名しました。

1974年2月には、旭川市の隣町・東川町で夏は粘土彫刻を、冬は氷彫刻を楽しむ東川氷土会を主宰していた加賀城章さんが3代目の会長に選任されました。事務局組織は1990年に東京から札幌に移転し、1994年には札幌から旭川へと再



かつては旭川市内のホテルで料理の腕を振るっていた吉岡将之事務局長



5代目会長を務める高橋徹さん

移転しています。

2003年1月にNPO法人となり、2005年に4代目会長として旭川のホテルで総調理長を務めた押切清さんが就任。2015年からは福岡市のホテルで総調理長を務めた高橋徹さんが5代目会長に就いています。現在は旭川に総本部を置き、全国に7つの地方本部、44の支部があります。

札幌冬季五輪開催で 氷彫刻に脚光

氷彫刻が脚光を浴びることになったのは、1972年の札幌冬季五輪開催を記念した企画として、北海道

新聞社が札幌市の大通公園で同年1月に開催した第1回全国氷彫刻展冬季大会です。日本氷彫刻会が選手集めや運営に全面協力して成功を収めました。

経費の問題で翌年は開催できませんでした。加賀城さんの尽力で、北海道新聞旭川支社の協力を得て1974年2月に旭川市で第2回の全国氷彫刻展冬季大会が開かれ、翌年の第3回全国氷彫刻展冬季大会は再び札幌で開催されました。

第4回以降も団体戦は札幌、個人戦は旭川で行うなどと、形を変えながら毎年開かれ、1982年の第10回大会は記念大会としてアメリカ、フランス、カナダ、ソ連から選手を招待しました。徐々に日本の氷彫刻技術の高さが世界的に広まり、1992年の第20回大会からは「氷彫刻世界大会」と改名し、1994年以降の大会からは個人戦・団体戦ともに旭



多くの市民・観光客が見物する1975年の札幌の全国氷彫刻展（札幌市公文書館蔵）

川で開かれるようになりました。

順調に開催してきた世界大会でしたが、新型コロナウイルス感染症のまん延で、2021年2月の大会が中止になりました。2022年2月の世界大会も通常開催が難しく、規模を大幅に縮小して開催しました。2023年2月は個人戦のみを再開し、2024年によく個人戦、団体戦共に開催できました。

同会では、世界大会のほかに、1971年7月以来、「全国氷彫刻展夏季大会」を東京の上野恩賜公園などで開いています。氷柱1本を60分以内で彫刻する技術を80〜100人が競う大会で、酷暑の旭川とは対照的な猛暑の中で熱戦が繰り広げられています。東京の夏の風物詩となっている大会ですが、2025年は大阪・関西万博が開かれている大阪市内での開催を予定しています。気候変動の影響もあり、氷彫刻が



全国氷彫刻展夏季大会の様子をまとめた記録集

展示されるイベントが減少する中、「新型コロナで地域のイベントの中止が相次ぎ、全国にいる日本氷彫刻会の会員の作品を披露する場がさらに少なくなりました。夏の氷彫刻展、冬の氷彫刻世界大会の両大会を中心に活動を充実させて、会員の技術の向上とやる気を引き出していきたい」と高橋会長は語ります。

日本の氷彫刻を担ってきた 料理人たち

日本の氷彫刻の歴史は、明治時代に西洋料理の普及に貢献した岩堀房吉さんが、ロシア大使付きの料理長時代に学んだ氷細工を日本に持ち帰り伝えたのが最初だと言われています。氷彫刻は食文化と結び付き、料理人の技能として普及するきっかけとなりました。

特に1964年の東京五輪の前後に相次ぎ建設された大規模ホテルには広い宴会場が併設され、結婚式や立食パーティーなどには氷彫刻が豪華な雰囲気演出する装飾としてもはやされました。「私もホテルの料理人でしたから、氷彫刻など飾り物を作るのも仕事のひとつでした」と吉岡事務局長は言います。

現在も、日本氷彫刻会の会員の約9割は料理人です。ただ、1990



最先端のノウハウが詰まった氷彫刻のバイブルともいえる『ビジョン・オブ・ザ・マスターⅢ』

年代初頭までのバブル経済が崩壊した後は、パーティー会場を氷彫刻で彩る予算があれば、食事をグレードアップするといったニーズの変化もあり、徐々に氷彫刻を披露する機会が減っているそうです。

さらに追い打ちをかけたのがコロナ禍で、売上が激減したホテル業界は人員削減を迫られました。氷彫刻世界大会の団体戦は、一人がベテラン料理人でもう一人が若手という組み合わせにより、技術を継承する機会にもなっていました。2人同時に大会に参加すると調理場が回らなくなるからと、出場を断念するホテルもあるそうです。「事業所の支援も得にくくなっている中ですが、選手の熱意が今の大会を支えています」(吉岡事務局長)

高橋会長は「もっと氷彫刻に目を向けてもらえるよう、氷彫刻を企業PRに活用する新たな手段を検討す

るなど、より一層、地域に密着した取組をしなければ」と話します。

技能認定制度などで技術を継承

日本氷彫刻会では、氷彫刻技術の向上を図るため技能認定制度を設けています。技能認定は3級から始まり、

1級の上には準師範、師範があり、最上位の名誉師範は全国で数人です。

塩塚常務理事は「働き方改革もあつて勤務時間外に職場に残って勉強することもできなくなってきました。氷彫刻の需要も減っているので氷を買って、練習させる企業側のメリットも薄れています」と打ち明けます。

日本の高度な氷彫刻技術を継承するため、世界各地の大会で優勝経験があり「氷彫刻界のレジェンド」と称される帯広市在住の中村順一名誉師範の作品づくりのノウハウをイラスト入りで詳細に著した『ビジョン・オブ・ザ・マスターⅢ』を同会として2022年に発行しました。

また、世界大会に合わせ、中村さんが旭川駅前に氷柱40本を使用して制作する幅5メートル、高さ3メートルの大氷像は、希望者を公募して共同で制作することで、匠の技を間近で学ぶ機会となっています。

ピーク時には1千人近い会員

は、2024年4月時点で458人となっています。「会員の高齢化も進んでいます。氷彫刻に興味を持ってもらえる若い方が少しでも増えてくれれば」と吉岡事務局長は話します。

未来の美術教師が氷彫刻を体験

氷彫刻の魅力を一人でも多く体感してもらおうと、2023年の世界大会から、北海道教育大学旭川校で美術を学ぶ学生を招いて、平和通買物公園で氷彫刻体験学習を行い、ミニ氷像を制作して特別に展示しています。

初回の2023年大会では同大美術分野の1年生全10人が参加し、日本氷彫刻会会員のアドバイスを受けながら約2時間で氷像を制作しました。2024年の大会は、学生からの希望も多く、1年生の2チームに加え、彫刻ゼミに所属する2〜4年生のチームも参加し、計18人が3基



2024年の世界大会で道教育大の学生がミニ氷像を制作している様子(岩永啓司准教授提供)

のミニ氷像を制作しました。学生からは「作品を多くの市民や観光客に見てもらい、直接声を掛けてもらえることが励みになりました」という感想も聞かれました。

2022年から氷彫刻の大会で審査員を務める同大旭川校美術分野の岩永啓司准教授は、「小中学校の美術の授業でも、刃物を扱うリスク、作品の保管場所、材料の確保などの問題があり、彫刻を体験する機会は減っています。氷彫刻は木や石よりも彫りやすいので、長く短命ですが、北海道らしい造形体験になると思います。今の学生が教員になった時に、その土地ならではの魅力や価値を見いだして、美術の授業や教育に役立ててほしい」と期待します。

お問い合わせ先

NPO法人 日本氷彫刻会
〒070-0043 旭川市常盤通1丁目
道北経済センター5階
☎01666-2221-2522
電子メール info@npo-jisa.com
HPアドレス https://npo-jisa.com/

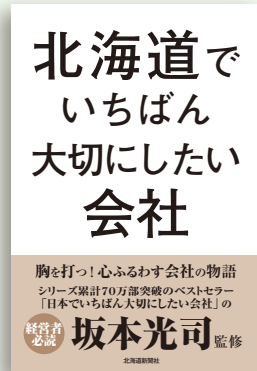
ほっかいどうの本

このコーナーは北海道の出版社から発行された本を社員が読み紹介しております。お近くの書店にない場合は発行先へお問い合わせください。特記以外は税込価格です。

北海道でいちばん大切にしたい会社

978-4-86721-146-5

坂本 光司(人を大切に育てる経営学会会長・監修)／北海道新聞社 編
四六判 224頁 1760円
北海道新聞社 発行 011・210・5744



本書はタイトルどおり「北海道でいちばん大切にしたい会社」を10社取り上げていますが、業績や従業員数などの企業指標で選ばれた会社の紹介本ではありません。

掲載の基準は「お客様ファーストの会社」ではなく、社員の幸せが第一という「社員ファースト」の企業理念を掲げているかにあります。

監修者の坂本光司先生は序文にて「会社は何のためにあるのか?」の問いに、「人を幸せにするため」、「人」の第一は「従業員とその家族」だときっぱりと答えています。

「好きなことを仕事にできたら幸せ」はよく聞くフレーズです。ですが、好きな業界や得意な職種の仕事に就けたとしても、社員を大事にしない会社へ入社した場合、その社員の人生はどうなることでしょうか。

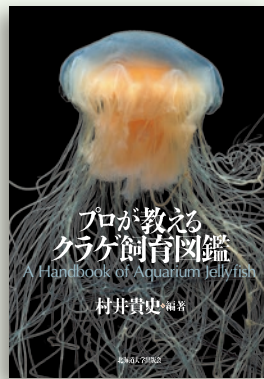
コロナ禍を経験し、生成AIが台頭するなど、これまでの常識が通用しない時代。そんな先の読めない状況にも対応できる軸を持つ、未来に希望が持てる会社の魅力が満載の1冊です。

(クリエイション部 津田百花)

プロが教えるクラゲ飼育図鑑

978-4-88291-141-1

村井 貴史 編著
A5判 264頁 7920円
北海道大学出版会 発行 011・747・2308



クラゲが水のなかを漂う様子は宇宙を浮遊しているかのようで、この空間だけは時の流れがゆったりしているのではと錯覚してしまいます。

突然ですが、クラゲの飼育で一番お手軽な方法は、どのようなものでしょうか? (答えは最後に)。

本書はおもに水族館のクラゲ担当者による実践に基づく飼育方法が掲載され、111種類のクラゲについて飼育や繁殖の現状がまとめられています。また、海からの採集方法や家庭での飼育方法、水族館の創意工夫なども掲載されています。

付属のDVDには、いわゆるクラゲのほか、プラヌラ(卵から孵った赤ちゃん期)やエフィラ(クラゲの形の子ども期)などの成長過程が収録されている種もあり、とりわけエフィラは「THE・クラゲの赤ちゃん」といった様相で心が和みます。

問題の答えは「コップやボトルに水(ふつうは海水)を入れて、クラゲをいれます。それだけです! クラゲの飼育に挑戦し、部屋のなかに小さな宇宙を創り出してはいかがでしょうか。

(システム部 武田純一)

夢遠の道のり シベリア抑留の記

978-4-87739-407-3

山口 文晃 編
四六判 132頁 990円
共同文化社 発行 011・251・8078



本書は編者である山口文晃さんの亡きお父様が残した自分史の内容より、生い立ちや志願した軍隊のこと、その後、満州で経験したこと、終戦後にソ連の捕虜となり過ごしたシベリアでの収容所生活などがまとめられています。

戦闘機の整備士であった著者の視点から、非戦闘員の戦時下の生活が克明に記されています。常に危険と隣り合わせの戦場とは異なる環境にありながらも、緊張感を持ちながら過ごした日々が伝わってきます。

また、シベリアでの過酷な生活の中でも努力を怠らず、ロシア語を覚えていく描写があります。努力の大切さとともに、敵対していた者がお互いに認め合い、ずっと厳しく辛いだけではなかったと知ることができました。

戦争の残酷さと同時に、人間の強さや逞しさも感じるができます。戦時下を生き抜いた方の生の声が記された貴重な書籍として、戦後80年を迎える中で、ぜひ多くの方に手にとってもらいたいと思います。

(総務・共育部 水岡柚仁)

ブック・ストーリーズ
本づくりの
さき
にあること――。

『北海道
ヤウンモシリ
歴史と今を学ぶ』

【発行】真宗大谷派北海道教区
宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・
立教開宗八百年慶讃法要委員会

【編集者】中西 志香さん



CHECK

【書籍概要】

アイヌ文化に詳しい有識者、旭川、釧路（阿寒湖）、平取（二風谷）、新ひだか（静内）などで暮らすアイヌ民族へのインタビュー9編、アイヌの文化や歴史に触れられる旧跡や施設などを巡ったフィールドワーク、歴史を振り返るコラムなどで構成する。A4判、146頁、2023年発行。

【お問い合わせ・本書ご購入先】

真宗大谷派 北海道教務所

〒064-0807 札幌市中央区
南7条西7丁目290

電話
011-511-5211

FAX
011-512-3929

頒布価格
1冊 1,000円

歴史の負の側面、
アイヌを通じて学ぶ

――なぜアイヌをテーマにしたのですか。

真宗大谷派は、いち早く門徒たちに北海道への移住を呼び掛け、現在の伊達市から中山峠を越えて札幌市を結ぶ「本願寺道路（国道230号の前身）」を開削するなど北海道開

真宗大谷派（東本願寺）北海道教区が、2023年に迎えた「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」の記念事業の一環として、北海道開教とアイヌ民族の関わりを教団独自の課題と捉え、道内各地で活動されているアイヌの方々の声を聞き取り、アイヌ関連の史跡・施設の紹介に特化した『北海道ヤウンモシリ 歴史と今を学ぶ フィールドワークガイドブック』を発行しました。企画・編集を担当した中西志香さんに制作の意図などを聞きました。（文・写真／片山健一 取材日2024年11月22日）

拓に大きな役割を果たしてきたと自負し、布教活動を行ってきました。

一方で、開拓賛美の歴史観を見直すきっかけとなったのが、1977年に起こった東本願寺大師堂爆破事件です。実行者は和人の左翼活動家によるものでしたが、決行声明には教団のアイヌ民族への侵略・搾取に対する批判が記されていました。

重たいテーマを
読みやすく

――発行に当たり、こだわった点や工夫された点を聞かせてください。

フィールドワークは、ただ建物を

2018年ごろ、北海道命名150年を冠したイベントが各地で開催されましたが、お祭りが先行し、北海道と命名された背景や負の歴史については深く掘り下げられないもどかしさの中で、教団が地道に継続してきたアイヌの方々の関係構築を次代につなぐ、課題が継続されていくことを願いとして、今回のガイドブック発行を企画しました。

回るのではなく、人と出会い、生の声を聞くことによって心が揺り動かされ、場所の記憶が刻まれることです。取材にあたって、チームを組ん



発行の目的などを語る中西さん



丹念に取材し編集された誌面の一部です。冒頭ページ掲載のマップには本願寺道路が緑色の破線で描かれています。四国のシルエットを対比して掲載することで北海道の広大さを視覚的に伝える工夫がされています。



私は、帯広市に隣接する中札内村の寺院の次男として生まれました。寺院は地域の記憶が刻まれる象徴的な場所でもあります。小さい頃から、開拓の苦労話を聞く機会も多く、地域の歴史についても興味を持っていました。大学入学からは京都で暮らしていましたが、真宗大谷派の住職の資格を取るにあたって、部落差別問題の学習が必須科目だったのです。そこで、差別の構造

差別の痛みを血肉化する

——編集に携わって感じられたことは。

実際にフィールドワークを先行体験するということを意識しました。重厚な内容を読みやすくするため工夫としては、見開いて必ず1点は写真を掲載するようにしたことと、オールカラーの強みを生かし地域によってパステルカラーの色分けをしたことです。史実については教団関係も含めてコラムで補完し、学習要素も盛り込んでいます。巻末は北海道大学アイヌ・先住民族研究センターの北原モコットウナシ教授と石原真衣准教授の談話です。一転シンプルなお印象を受けると思いますが、重要な問題提起が多く、ぜひ読んでいただきたい部分です。



が個人的な差別意識よりもっと深く、政治・社会・歴史に根ざしていることを学びました。

2008年に北海道に戻ってから、教団関係者向けの研修会の企画運営を手掛ける中で、差別問題の学習には道徳的な善悪や正義を掲げるのではなく、「自分の中の差別意識を内観する」というアクセスが仏教的だと思ふようになりました。差別する側も人間的な弱さを抱えています。その弱さが他者に対する加害につながっていることを知るために、差別された方々の痛みを聞き取り血肉化するプロセスが必要だと思えます。インタビューには相互の信頼関係が必要ですので、言葉を尽くして趣旨を伝えさせていただきました。

本書に関心を持たれた方は、真宗大谷派北海道教務所で頒布価格にてお配りしておりますので、お問い合わせいただければ幸いです。

新刊情報

書名の下の数値は日本図書コード（ISBN）及び雑誌コード。特記以外は税込価格。
お近くの書店にない場合は発行先へお問い合わせください。

きりんのつた

978-4-86721-145-8
大平 まゆみ 作／
ひだの かな代 絵
A4変型判 32頁 1760円

今すぐ行きたい！
北海道のサウナ

978-4-86721-152-6
北海道新聞社 編
四六判 176頁 1980円

北海道で
いちばん大切にしたい会社

978-4-86721-146-5
坂本 光司（人を大切に
する経営者）監修／
北海道新聞社 編
四六判 224頁 1760円

道新プラス
道新受験情報2025
高校入試志望校決定特集

16747-11
北海道新聞社 編
B5判 224頁 990円

ミンタラ③
アイヌ民族 33のニュース

978-4-86721-147-2
北原モコトウナシ・瀧口 夕美
編著／小笠原 小夜 絵
B5判 128頁 1980円

北海道新聞社
001 札幌市中央区大通東4-1
011-210-5744

当事者が語る
「貧困とはなにか」
参加型貧困調査の可能性

978-4-8329-6898-1
陳 勝 著
A5判 232頁 6380円

ファイターズ2024
オフィシャルグラフィックス

978-4-86721-151-9
北海道新聞社 編
A4判 128頁 1540円

月めくり
ファイターズカレンダー2025

978-4-86721-149-6
北海道新聞社 編
A4判 14枚綴り 1320円

ブックレット・ポスターズ11
ダークツーリズムを超えて
北海道と九州を結ぶ

978-4-8329-6900-1
山田 良介 編著
B5判 92頁 1320円

週めくり
ファイターズカレンダー2025

978-4-86721-150-2
北海道新聞社 編
A5判 28枚綴り 2750円

張載思想研究
宋明理学の中の「太虚」説

978-4-8329-6899-8
山際 明利 著
A5判 328頁 11000円

乳井貢 志学幼弁

978-4-8329-6901-8
小島 康敬 校注
A5判 410頁 19800円

北海道大学出版会

0011-747-23008
009 札幌市北区北9条西8丁目

札幌クラシック建築 追想

978-4-906740-67-3
越野 武 著
A5判 240頁 3300円

亜璃西社

0011-2221-53996
0037 札幌市中央区南2条西5丁目

哺育・育成牛の飼養管理ガイド

978-4-86453-102-3
「子牛を健康に育て経営安定」
デーリイマン編集部 編
A4判 188頁 4950円

デーリイマン社

0005 札幌市中央区北5条西14丁目
011-209-10003

北海道の野菜づくり
基本技術と品目別栽培ポイント

978-4-86453-103-0
鈴木 亮子 監修
B5判 260頁 4070円

北海道農協年鑑
令和7年版

978-4-86453-104-7
B5判 584頁 13200円

北海道協同組合通信社

0005 札幌市中央区北5条西14丁目
011-209-10003

ストリップ劇場のある街、あつた街
浅草・新宿・船橋・札幌の〈ピンク文化〉と
それを支えた人びと

978-4-909281-04-7
早乙女 宏美 著
四六判 238頁 2750円

寿郎社

0011-708-85666
0037 札幌市北区北7条西2丁目

体育理論の教材になる
スポーツ基本法の裁判例
―法教育のつとめ―

978-4-8739-413-4
山口 裕貴 編著
A5判 192頁 1760円

爪句@暦の記憶2

978-4-8739-415-8
青木 曲直 著
100×74mm 236頁 5000円

共同文化社

0011-251-8078
0033 札幌市中央区北6条東5丁目

紙のば
幣舞橋に佇む

幣舞橋は、釧路川の最下流にかかるヨーロッパスタイルの橋で、欄干には春夏秋冬を表現する4つの四季像がある。札幌の豊平橋、旭川の旭橋とあわせて北海道三大名橋となっている。

黄昏時には、海を背景に、夕日と街路燈、四季像が織りなす風景は幻想的で、世界三大夕日の一つと言われている。夜には、橋がライトアップされ、港や街路燈の灯りが川面を染める夜景が美しい。幣舞橋に佇み、夜景を見ていると、今度は夕日を見たいと思った。

GEM木版画会 会員 札幌市在住



※季刊アイワードのバックナンバーを
弊社ホームページよりご覧いただけます。

URL <https://iword.co.jp>